

2018年度に国立高校を卒業した、北海道大学の<sup>大澤菜緒</sup>と申します。

私は、中学からソフトテニスをやっていて、高校でも続けたいと思い国立高校を選びました。最初はどんな部活か不安でしたが、仮入部で優しい先輩方に出会い、この部活の良い雰囲気に触れ、すぐに入部を決めました。

尊敬できる先輩や同級生に恵まれ、楽しくて充実した練習ができていたと思います。2年生の時には部長を任せていただき、部を引っ張っていく上で悩むこともありましたが、部員や先輩方、先生方が支えてくださいました。私はこの経験を通して大きく成長できたと思っています。また、3年生では、親身になって指導してくださったOB、OGさん、一緒に練習してきた仲間のおかげで、目標にしていた結果を残して引退することができました。この部活では、練習以外の交流もたくさんあって、楽しい思い出がたくさんあります。本当に心から入ってよかったと思える部活です。

私の同期の部員の中には、委員会で重役を務めたり文化祭でキャストを務める人もいました。また、高校からソフトテニスを始めたという初心者も多くいました。みんなそれぞれの立場で真剣に練習に取り組んでいました。

このソフトテニス部での経験は本当に大切なものです。少しでも興味のある方はぜひ、仮入部に行ってみてください！